

今月に入り、貨物鉄産労北海道地区本部及びJR北海道労働組合（JR北労組）で組織拡大の報告が相次いでいるが、本日、JR北労組から10月31日付で釧路地区本部の27歳の青年が加入したとの報告があった。JR北労組の組織拡大は、これまで札幌圏が中心であったものの、8月の函館地区本部に続いて、いよいよ各地方にも拡大の流れが波及しそうだ。

## JR北労組で組織拡大 釧路地区本部で初！27歳の青年が加入

### 大会以降3人目！地方へ組織拡大が波及し始める

今回、加入したのは釧路地区で働く、10月に入社した27歳の青年。JR北労組は7月に開催した定期大会以降、20歳代の青年3人を拡大したことになる。

JR北労組は今回の加入について、「各級機関で地道な運動を粘り強く実践してきたことの成果」とする一方、これまで組織拡大を牽引してきた札幌圏から、8月には函館地区本部でも組織拡大を行っていることから、「地方へ波及し始めた組織拡大の流れを止めることなく、今までの取り組みに自信と確信を持って、全組合員の総力を挙げた組織拡大運動を展開していこう」と組合員に呼びかけている。

JR連合は、今回加入した青年を全国81,000人の仲間全体で大歓迎するとともに、この間のJR北労組の各級機関及び関係者の取り組みに対して、最大限の敬意を表するものです。

### JR北労組「他労組組合員への呼びかけに総力挙げる」

JR北労組では、JR北海道の安全確立と信頼回復、再生を目指して、自ら策定した「JR北海道再生プラン」「新たな5つの提言」の実現にむけた取り組みを組織全体で進めている。とりわけ、「どの組合が真面目に会社を再生させて、風通しの良い企業風土をつくり、利用者・道民からの信頼を得る取り組みを進めているのか誰の目から見ても明らかである」として、他労組組合員への加入呼びかけに組織の総力を挙げるとしている。

JR連合は、JR北労組の取り組みを最大限支援するとともに、JR東日本・JR貨物における民主化の取り組みと併せて、民主化闘争の取り組みを今後、一層強化していく。

**安全確立と信頼回復に取り組むJR連合・JR北労組に結集しよう！**